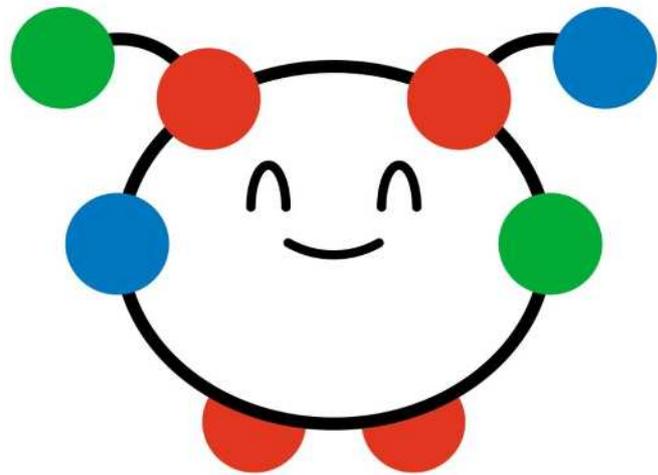


お知らせします！ 基金の使い道！！

(令和4年度末)



富山県南砺市

1. 基金の状況

令和4年度末における基金設置数は23基金で、基金残高は下表のとおりとなっています。
 (基金残高合計：279億4,775万円)

(単位：円)

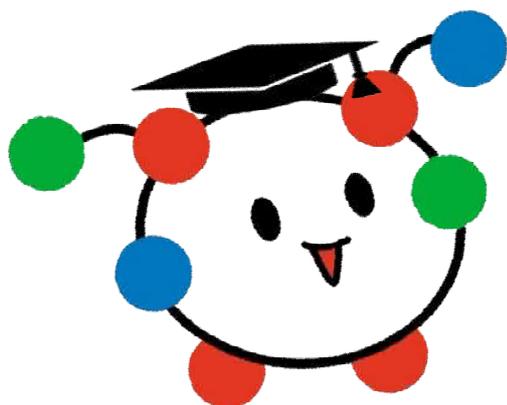
基金名		設置目的	R4末残高
01_財政調整基金	(積立)	市財政の健全な運営を図るため	3,501,372,600
02_減債基金	(積立)	市債の償還に必要な財源を確保するとともに、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため	6,285,086,775
03_施設等整備基金	(積立)	市の施設等の整備を計画的に実施するため (道路整備5箇年計画等)	2,138,752,803
04_国際交流基金	(積立)	市民の国際交流事業の推進を図るため	103,670,770
05_社会福祉基金	(積立)	市民の福祉の増進をはかるため	1,404,214,851
06_環境保全基金	(積立)	地域住民が共同して行う土地改良施設等の地域資源の保全及び活用に係る事業を推進することで、農村地域の良好で快適な環境の創造を図るため	67,269,264
07_合併地域振興基金	(積立)	8町村の合併に伴い誕生した本市住民の一体感の醸成、発展あるまちづくり及び元気な地域づくりを推進するため	3,288,214,196
08_クレー射撃場施設管理基金	(積立)	クレー射撃場施設の維持管理費に充てるため	12,250,956
09_過疎地域自立促進基金	(積立)	過疎地域自立促進特別事業に要する経費に充てるため(産業振興、交通通信、厚生、教育文化、その他)	520,570,126
10_すこやか子育て基金	(積立)	次代を担う子どもたちの健やかな成長を図り、結婚、妊娠、出産、子育て及び教育まで切れ目のないサービスを提供できる環境づくりを図るため	1,591,772,380
11_地方創生推進基金	(積立)	南砺幸せなまちづくり創生総合戦略に係る事業の継続的な推進を図るため	1,985,026,830
12_公共施設再編基金	(積立)	公共施設再編計画の着実な実行を図るため	2,600,000,000
13_Uターン就職奨学基金	(積立)	奨学資金の貸与を受けた者の返済額を助成し、Uターン就職及び市内での定住の推進を図るため	15,572,000
14_商工観光振興基金	(積立)	地域の商工業の振興及び観光事業の推進に資するため	827,254,856
15_こども未来創造基金	(積立)	児童・生徒の多様な学びの機会を提供し、魅力あふれる人材育成の推進に資するため	861,264,279
16_森林環境譲与税基金	(積立)	森林の整備や、それを担う人材の育成・確保などの施策に要する費用に充てるため	33,564,221
17_新型コロナウイルス感染症対策基金	(積立)	新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に要する費用に充てるため	272,424,639
18_南砺応援基金	(積立)	寄附の意向に沿ったまちづくりの推進に資するため	11,878,437

(単位：円)

基金名	設置目的	R4末残高
19_国民健康保険事業財政調整基金 (積立)	国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため	718,545,375
20_訪問看護事業財政調整基金 (積立)	訪問看護事業の健全な財政運営を図るため	162,752,149
21_奨学基金 (定額)	奨学金に関する事務を円滑かつ効果的に行うため	192,590,123
22_土地開発基金 (定額)	公用もしくは公共用に利用する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することで、公共事業の円滑な執行を図るため	1,299,601,027
23_美術品取得基金 (定額)	美術品の取得に要する経費に充てるため	54,097,909
合計		27,947,746,566

※1 (積立)：特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益も含めて、特定事業の財源として活用(取崩し)できるもの。積立基金

※2 (定額)：特定の目的のため定額の資金を運用する目的で積み立てられた基金で、歳入歳出予算に計上することなく、直接、基金で土地や美術品を購入したり、資金を貸し付けするもの。定額運用基金



そもそも基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産のことで、いわゆる南砺市の貯金のことだよ。

基金には、

○「財政調整基金」

…経済の不況等により大幅な減収減に見舞われたり、災害の発生など思わぬ支出の増加などに備えるための基金

○「減債基金」

…市の借金である地方債の償還に充てるための基金

○「特定目的基金」

…その他特定の目的のために設置された基金
例. 施設等整備基金、地方創生推進基金など

などがあるよ。

2. 基金の活用状況と残高の推移

令和4年度に基金を使って行った事業を紹介します。

※表示単位の端数処理（四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。

また、表示単位未満の数値があるときは「0」、数値がないときは「-」とします。

01_財政調整基金

（担当：財政課）

令和4年度は、補正予算に要する経費に充てるため2,137万円を取り崩しました。また、後年度の財源調整のため、基金の運用によって得られた収益908万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	30億8,154万円	34億7,966万円	34億7,234万円	34億4,785万円	35億1,366万円
当該年度積立額	3億9,812万円	963万円	1億5,622万円	3億8,880万円	908万円
当該年度取崩額	-万円	1,695万円	1億8,071万円	3億2,299万円	2,137万円
当該年度残高	34億7,966万円	34億7,234万円	34億4,785万円	35億1,366万円	35億1,366万円

（注）財政調整基金の残高は、標準財政規模（全国どこでも同じ水準の行政サービスを提供するために必要な一般財源のこと。令和4年度は214億7,086万円）の10%から15%程度となるように努めることとしています。

02_減債基金

（担当：財政課）

令和4年度は、公債費（借金の返済）負担の平準化を図るために、当初予算にて5億900万円を取り崩しましたが、年度末に一部戻入れを行い、2,900万円を取り崩しました。また、決算剰余金等と基金の運用によって得られた収益の合計2,114万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	61億5,151万円	58億4,382万円	60億5,998万円	60億7,676万円	62億9,295万円
当該年度積立額	2,167万円	21億6,166万円	1,678万円	2億1,619万円	2,114万円
当該年度取崩額	2億8,300万円	-万円	-万円	-万円	2,900万円
当該年度残高	58億4,382万円	60億5,998万円	60億7,676万円	62億9,295万円	62億8,509万円



03_施設等整備基金

(担当：財政課)

令和4年度は、道路整備5箇年計画（H30-R4）に基づく市道整備事業や施設の修繕事業の財源として1億5,400万円を取り崩し、充当しました。

また、公共施設の老朽化に伴い、今後の維持修繕費の増大が見込まれることに備え、決算剰余金等から1億5,000万円を積み立てたほか、基金の運用によって得られた収益552万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	21億 951万円	20億1,319万円	19億7,066万円	19億1,882万円	21億3,723万円
当該年度積立額	949万円	557万円	546万円	3億 511万円	1億5,552万円
当該年度取崩額	1億 580万円	4,810万円	5,730万円	8,670万円	1億5,400万円
当該年度残高	20億1,319万円	19億7,066万円	19億1,882万円	21億3,723万円	21億3,875万円

04_国際交流基金

(担当：交流観光まちづくり課)

令和4年度は、南砺市国際交流協会の実施する事業に必要な補助金の財源として700万円を取り崩し、充当しました。

また、決算剰余金等と基金の運用によって得られた収益の合計1,525万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	9,738万円	8,568万円	7,514万円	8,590万円	9,542万円
当該年度積立額	35万円	24万円	1,521万円	1,523万円	1,525万円
当該年度取崩額	1,205万円	1,078万円	445万円	570万円	700万円
当該年度残高	8,568万円	7,514万円	8,590万円	9,542万円	1億 367万円

05_社会福祉基金

(担当：財政課)

令和4年度は、高齢者福祉施設の修繕事業の財源として1,270万円を取り崩し、充当しました。基金の運用から得られた収益357万円は、基金への積み立ては行わず、社会福祉法人南砺市社会福祉協議会が実施する事業に対する補助金の財源に充当しました。

また、決算剰余金等3,500万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	13億6,501万円	13億6,291万円	13億2,541万円	13億5,811万円	13億8,191万円
当該年度積立額	-万円	-万円	3,500万円	3,500万円	3,500万円
当該年度取崩額	210万円	3,750万円	230万円	1,120万円	1,270万円
当該年度残高	13億6,291万円	13億2,541万円	13億5,811万円	13億8,191万円	14億 421万円

06_環境保全基金

(担当：財政課)

令和4年度は、基金の運用によって得られた収益17万円を基金には積み立てず、市単独土地改良事業補助金の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円
当該年度積立額	-万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円

07_合併地域振興基金

(担当：財政課)

令和4年度は、地域住民主体のまちづくり拠点施設整備事業の財源として1,070万円を取り崩し、充当しました。基金の運用によって得られた収益852万円は、基金への積み立ては行わず、各種イベント補助金（城端むぎや祭、福野夜高祭、福光ねつおくり七夕祭り、いのくち椿まつりなど）の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	39億 29万円	39億 29万円	33億8,384万円	32億9,891万円	32億9,891万円
当該年度積立額	-万円	-万円	627万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	-万円	5億1,645万円	9,120万円	-万円	1,070万円
当該年度残高	39億 29万円	33億8,384万円	32億9,891万円	32億9,891万円	32億8,821万円



08_クレー射撃場施設管理基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

令和4年度は、基金の運用によって得られた収益3万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	1,817万円	1,697万円	1,607万円	1,612万円	1,222万円
当該年度積立額	-万円	-万円	5万円	-万円	3万円
当該年度取崩額	120万円	90万円	-万円	390万円	-万円
当該年度残高	1,697万円	1,607万円	1,612万円	1,222万円	1,225万円

9_過疎地域自立促進基金

(担当：財政課)

令和4年度は、定住推進事業や空き家対策に要する事業の財源として6,330万円を取り崩し、充当しました。

また、引き続き、過疎地域の活性化を図る事業の財源として、過疎対策事業債（ソフト）を活用し1億4,380万円、基金の運用によって得られた収益113万円の合計額1億4,493万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	3億2,087万円	3億8,181万円	3億2,767万円	3億9,788万円	4億3,894万円
当該年度積立額	1億 4万円	1億 526万円	1億5,131万円	1億3,426万円	1億4,493万円
当該年度取崩額	3,910万円	1億5,940万円	8,110万円	9,320万円	6,330万円
当該年度残高	3億8,181万円	3億2,767万円	3億9,788万円	4億3,894万円	5億2,057万円

10_すこやか子育て基金

(担当：財政課)

令和4年度は、保育料軽減事業、こども妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業等の財源として、1億4,520万円を取り崩し、充当しました。また、決算剰余金等1億5,000万円と基金の運用によって得られた収益409万円の合計額1億5,409万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

・保育園費（保育料軽減事業、臨時保育士処遇改善分）	6,720万円
・こども妊産婦医療費給付費（医療費助成）	5,050万円
・児童育成費（出生祝い金事業）	1,530万円
・施設型給付等支援費（保育料軽減事業）	500万円
・すこやか親子支援事業費（出産準備支援事業、不妊治療助成事業）	460万円
・ひとり親家庭医療費給付費（医療費助成）	260万円

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	17億1,039万円	15億1,566万円	15億3,395万円	15億7,020万円	15億8,288万円
当該年度積立額	607万円	2億 419万円	1億5,425万円	1億5,418万円	1億5,409万円
当該年度取崩額	2億 80万円	1億8,590万円	1億1,800万円	1億4,150万円	1億4,520万円
当該年度残高	15億1,566万円	15億3,395万円	15億7,020万円	15億8,288万円	15億9,177万円



11_地方創生推進基金

(担当：政策推進課)

令和4年度は、第2次総合計画「なんとまちづくりプラン」に掲げる施策等の財源として2億1,511万円を取り崩し、充当しました。

また、第2次南砺市総合計画の達成に向けて実施する主要事業の財源として活用していくため、決算剰余金等2億円と基金運用益515万円に寄附金10万円を加えた合計額2億525万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	7億3,601万円	4億5,182万円	8億5,967万円	13億6,355万円	19億9,488万円
当該年度積立額	261万円	8億125万円	5億738万円	8億1,363万円	2億525万円
当該年度取崩額	2億8,680万円	3億9,340万円	350万円	1億8,230万円	2億1,511万円
当該年度残高	4億5,182万円	8億5,967万円	13億6,355万円	19億9,488万円	19億8,502万円

○地方創生推進基金を充当した主な事業

事業名	事業内容	R4決算額	基金充当額
住民自治推進交付金事業	地域づくり協議会に対する活動費や地域指導員などの人件費として交付金を交付	2億3,473万円	9,130万円
令和新時代まちづくり事業	県「令和新時代のまちづくり推進事業補助金」を活用し、地域団体等が実施する人口減少対策の取組を支援	4,457万円	2,220万円
放課後児童クラブ事業	授業の終了後（放課後）等に適切な遊び・生活の場を提供	4,097万円	1,350万円
子育て応援制度	ひとり親家庭又は低所得者世帯を対象とした子育て支援	1,080万円	1,030万円
空き家・空き店舗利用促進事業	空き家・空き店舗利用促進事業補助金	1,044万円	970万円
棟方志功資料調査事業	令和5年に棟方志功生誕120年を迎えるにあたり、関係資料を調査・整理・データ化	559万円	550万円
中学校部活動支援事業	中学校部活動に、外部指導員を配置	1,062万円	530万円
外国人児童生徒支援事業	日本語指導が必要な外国籍の児童生徒に対し、外国語支援講師を配置し支援	456万円	450万円
散居景観保全事業	散居景観の保全・育成を推進するため、散居村の屋敷林の枝打ち等を支援	903万円	450万円
とやまっ子さんさん広場推進事業	地域において子どもの居場所づくりを行う団体への助成	677万円	370万円
企業立地ニーズ調査事業	中京圏、関西の企業に企業アンケートを実施し、市内への企業立地の意向を調査	338万円	330万円

事業名	事業内容	R4決算額	基金充当額
子ども家庭総合支援拠点事業	「南砺市子ども家庭総合支援拠点」（小規模A型）を設置し、子どもとその家庭及び妊産婦等の福祉に関し必要な支援を行う	636万円	290万円
若者ネットワーク事業	若い世代（高校生）が主体的に行う事業の企画・実施をきっかけに、若者の様々な分野への参画を図る	1,175万円	281万円
松村記念館資料調査事業	政治家・松村謙三氏に関する資料調査・データベース化に取り組む	473万円	240万円
スポーツで健康向上事業	総合型地域スポーツクラブが中心となって市民にスポーツの機会を提供し、体力の維持向上による健康増進を図る	204万円	200万円
学生健診事業	市内の中学生及び高校生で希望者を対象とした健康診査の実施	229万円	190万円
「こどものえがおクリニック」運営事業	子どもの発達障害などに関する相談に対応するため、南砺家庭・地域医療センターに児童精神科医による診察を開設	195万円	190万円
景観づくり住民協定等推進事業	景観づくり住民協定を締結した地域が実施する事業を支援	306万円	150万円
園芸産地剪定枝粉碎機購入補助事業	果樹栽培を行う農家において剪定枝の有効活用を図るため、剪定枝粉碎機購入を支援	427万円	140万円
妊娠・出産包括支援事業	切れ目のない出産、子育て環境を保つための各種支援事業を実施	1,009万円	120万円
地場産農作物消費向上事業	小中学校及び保育園での地場産農産物及び加工品の活用を推進	149万円	120万円
新生児聴覚検査事業	新生児聴覚検査に係る費用を助成	118万円	110万円
市営バスデマンド実証運行事業	市営バス巡回路線をデマンド方式へ変更することを想定し、実証運行を実施	234万円	100万円
放課後子ども教室事業	平日の放課後に小学校等を活用し、子どもたちに活動の場を提供	244万円	80万円
土曜学習推進事業	地域の参画により、週末等の休日に小学校等を活用し、子どもたちに活動の場を提供	170万円	60万円
母子家庭等就業自立支援事業	就職に結びつきやすい資格の取得を目指すひとり親に対して、資格取得に必要な費用及び修了時に給付金を支給	177万円	40万円

12_公共施設再編基金

(担当：財政課)

令和4年度は、基金の運用によって得られた収益672万円を基金には積み立てず、保育園及び小中学校の維持管理経費（光熱水費）に充当しました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	26億円	26億円	26億円	26億円	26億円
当該年度積立額	-万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度残高	26億円	26億円	26億円	26億円	26億円

13_Uターン就職奨学基金

(担当：教育総務課)

令和4年度は、奨学金の貸与者であって市内に就職された方を対象に、奨学金返還額相当額を助成する事業の財源として148万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益4万円は、基金には積み立てず、事務局運営費の財源として充当しました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	1,072万円	2,282万円	2,086万円	1,896万円	1,706万円
当該年度積立額	1,357万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	146万円	196万円	190万円	190万円	148万円
当該年度残高	2,282万円	2,086万円	1,896万円	1,706万円	1,558万円

14_商工観光振興基金

(担当：財政課)

令和4年度は、地域の商工業の振興及び観光事業を推進するための財源として5,000万円を取り崩し、充当しました。

また、PLAY EARTH PARK事業の推進に伴い、今後の事業経費の増大が見込まれることに備え、決算剰余金等4億円と基金の運用によって得られた収益123万円の合計額4億123万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	-万円	3億9,881万円	4億4,991万円	4億7,476万円	4億7,602万円
当該年度積立額	3億9,881万円	5,110万円	5,125万円	5,126万円	4億123万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	2,640万円	5,000万円	5,000万円
当該年度残高	3億9,881万円	4億4,991万円	4億7,476万円	4億7,602万円	8億2,725万円

※平成30年度に果実運用基金であった「産業振興基金」を新たな積立基金「商工観光振興基金」へと積み替えました。

15_こども未来創造基金

(担当：財政課)

令和4年度は、小中学校のICT教育関係の機器配備や更新に要する事業の財源として1,540万円を取り崩し、充当しました。

また、決算剰余金等5,000万円と基金の運用によって得られた収益213万円の合計額5,213万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	-万円	4億4,886万円	7億5,010万円	7億7,248万円	8億2,453万円
当該年度積立額	4億4,886万円	3億1,24万円	5,208万円	5,206万円	5,213万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	2,970万円	-万円	1,540万円
当該年度残高	4億4,886万円	7億5,010万円	7億7,248万円	8億2,453万円	8億6,126万円

※平成30年度に果実運用基金であった「学校教育振興基金」、「生涯学習振興基金」、「文化振興基金」、「スポーツ振興基金」の4基金を新たな積立基金「こども未来創造基金」へと積み替えました。

16_森林環境譲与税基金

(担当：財政課)

令和4年度は、計画的な森林の整備や人材の育成・確保などの施策の財源として5,560万円を取り崩し、充当しました。

また、森林環境譲与税4,907万円、基金の運用によって得られた収益10万円の合計額4,917万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

- ・林業振興対策費（森林・林業担い手育成業務） 200万円
- ・森林育成対策費（森林経営管理推進事業） 4,510万円
- ・児童育成費（なんとの宝お祝い事業） 370万円
- ・ゼロカーボンシティ推進費（森林資源燃料活用促進事業） 480万円

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	-万円	-万円	1,726万円	3,345万円	3,999万円
当該年度積立額	-万円	1,762万円	3,749万円	3,774万円	4,917万円
当該年度取崩額	-万円	36万円	2,130万円	3,120万円	5,560万円
当該年度残高	-万円	1,726万円	3,345万円	3,999万円	3,356万円



なんとの宝お祝い事業

17_新型コロナウイルス感染症対策基金

(担当：財政課)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に資する施策の財源として4,754万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益82万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	-万円	-万円	-万円	4億 813万円	3億1,914万円
当該年度積立額	-万円	-万円	4億 813万円	117万円	82万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	-万円	9,015万円	4,754万円
当該年度残高	-万円	-万円	4億 813万円	3億1,914万円	2億7,242万円

○新型コロナウイルス感染症対策基金を充当した主な事業

事業名	事業内容	R4決算額	基金充当額
新型コロナウイルス感染症介護サービス事業所等経営支援助成事業	クラスターが発生した介護施設のうち、厚生センターの指示に従って新規利用者の受入れを停止した施設に対して、減収分の一部を支援	901万円	901万円
市立図書館デジタル化推進事業	図書館のホームページ改修及び非接触型サービスを強化	427万円	427万円
井波にじいろ保育園ホール空調工事	換気の徹底のため、井波にじいろ保育園の空調を更新	405万円	405万円
南砺金沢線活用誘客促進事業	南砺金沢線・世界遺産バスの利用時に使用できるフリーパスを半額割引で販売し、金沢市からの誘客促進を図る	200万円	200万円
市立小中学校コロナ対策事業	校内におけるアルコール消毒剤等にて感染防止対策等を行う	389万円	196万円
スポーツクラブ入会促進事業補助金	スポーツクラブの新規加入者を対象に年会費の1/2助成を実施	181万円	181万円
農業者収入保険加入促進事業	リスクに伴う収入減少を補償する収入保険加入を推進	142万円	142万円
祭礼行事継承支援事業補助金	文化の保存継承を図るため、伝統文化行事の事業継続を支援	110万円	110万円
短期入所介護施設等新型コロナウイルス感染症感染拡大防止協力助成事業	市内ショートステイ施設においてクラスターが発生し、留め置きを要請された利用者の追加負担を助成	100万円	100万円

18_南砺応援基金

(担当：財政課)

令和4年度は、寄附の目的に沿った事業の財源として284万円を取り崩しました。また、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングなどにより、市のまちづくりに賛同及び貢献したい方々から寄せられた寄附金640万円と基金の運用によって得られた収益2万円の合計642万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	-万円	-万円	-万円	-万円	830万円
当該年度積立額	-万円	-万円	-万円	830万円	642万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	-万円	-万円	284万円
当該年度残高	-万円	-万円	-万円	830万円	1,188万円

19_国民健康保険事業財政調整基金

(担当：健康課)

令和4年度は、財源不足に対応するために4,881万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益198万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	7億1,920万円	8億8,726万円	7億9,168万円	8億1,041万円	7億6,537万円
当該年度積立額	1億6,806万円	245万円	1,873万円	216万円	198万円
当該年度取崩額	-万円	9,803万円	-万円	4,720万円	4,881万円
当該年度残高	8億8,726万円	7億9,168万円	8億1,041万円	7億6,537万円	7億1,854万円

20_訪問看護事業財政調整基金

(担当：医療課)

令和4年度は、財源不足に対応するために1,730万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益46万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H30	R1	R2	R3	R4
前年度末残高	1億886万円	8,825万円	2億2,449万円	1億9,481万円	1億7,959万円
当該年度積立額	39万円	1億5,024万円	32万円	52万円	46万円
当該年度取崩額	2,100万円	1,400万円	3,000万円	1,574万円	1,730万円
当該年度残高	8,825万円	2億2,449万円	1億9,481万円	1億7,959万円	1億6,275万円

3. 定額運用基金の状況

1. 奨学基金

《貸付金と貸与者数の状況》

区分	令和3年度末 貸与者数	令和3年度末 現在高（貸付残高）	令和4年度		令和4年度末 貸与者数	令和4年度末 現在高（貸付残高）
			貸付	返済		
10,000円/月	1人	/	/	/	1人	/
30,000円/月	1人				0人	
35,000円/月	41人				33人	
計	43人	9,160万円	1,396万円	1,866万円	34人	8,690万円

《基金現金の状況》

区分	令和3年度末 現在高	令和4年度		令和4年度末 現在高
		増	減	
現金	1億98万円	1,867万円	1,396万円	1億569万円

南砺市奨学金貸与制度の概要

1. 奨学資金の目的

有用な人財の育成を図るため、優れた資質があるにも関わらず、授業料等の支払いが困難な学生に対して、奨学資金を貸与しています。

2. 資金の貸与を受けられることができる方

次の全てに該当する必要があります。

- (1) 保護者が市内に住所を有していること。
- (2) 健康かつ品行方正であって、学業成績が優秀であること。
- (3) 授業料等の支払いが困難であること。
- (4) 学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学又は大学（大学院を除く。）に在学する方であること。
- (5) 在学した学校長又は現に在学する学校長の推薦があること。

3. 貸与の額

- 高等学校・高等専門学校（自宅）・・・月額10,000円以内
- 高等学校・高等専門学校（自宅外）・・・月額30,000円以内
- 専修学校（専門）・短期大学・大学・・・月額35,000円以内

4. 貸与期間、返済期間

正規の修学期間が終了する月まで貸与します。また、卒業した月の翌月から7年以内（1年据置）に返済していただくことになります。（貸与資金の返済に利息はつきません。）

5. 選考基準

資金の貸与を受けようとする方は、学力及び家計の両方の基準を満たす必要がありますが、家計の基準が優先されます。

(1) 学力基準

- ① 新入生は、出身校の在学期間の全履修教科の平均値（評定平均値）が3.5以上。2年生以上は、入学から前年度までの全履修教科の平均値とします。
- ② 3.0以上3.5未満であっても、家族構成、家庭事情、本人の学業意欲、人物所見によって考慮します。

(2) 家計基準

貸与を受けようとする方の世帯人数に応じた収入基準をもとに算定されます。
詳細については、教育総務課までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：南砺市 教育部 教育総務課

〒939-1692 南砺市荒木1550番地

TEL：0763-23-2012 FAX：0763-52-6350

2. 土地開発基金

≪土地面積の状況≫

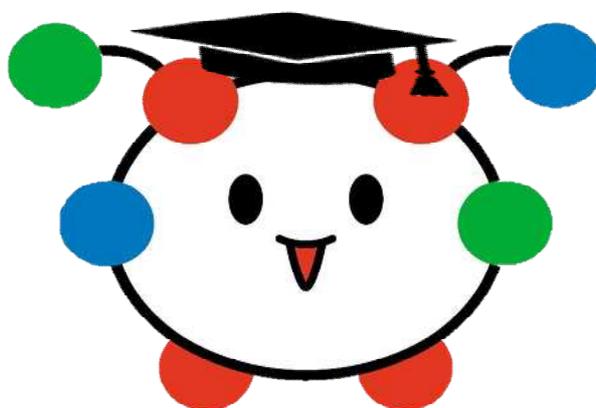
(単位：㎡)

区分	令和3年度末 現在高	令和4年度		令和4年度末 現在高
		増	減	
宅地	20,108.68	-	2,970.68	17,138.00
田畑	3,187.86	-	-	3,187.86
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
合計	23,296.54	0.00	2,970.68	20,325.86

≪簿価（土地価格）の状況≫

(単位：円)

区分	令和3年度末 現在高	令和4年度		令和4年度末 現在高
		増	減	
宅地	268,255,279	-	38,803,022	229,452,257
田畑	28,366,677	-	-	28,366,677
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
土地 計	296,621,956	0	38,803,022	257,818,934
現金預金 計	1,002,788,013	38,994,080	0	1,041,782,093
合計	1,299,409,969	38,994,080	38,803,022	1,299,601,027



3. 美術品取得基金
 ≪美術品の状況≫

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
櫻井之駅 楠父子誠忠	1	山本 光一	日本画	軸装	H16.8.4	315,000	軸先が陶器
栖霞品句板巻	1	棟方 志功	版画	製本	H16.8.4	700,000	
棟方志功日記他資料一括（日記3・資料6）	9	棟方 志功	資料		H17.8.9	1,260,000	
笈	2	石崎 光瑤	日本画	2曲1双屏風	H17.8.19	15,000,000	裏箔・第8回文展 褒状受賞
横臥裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	21点セット購入 10,500,000円
裸婦三人	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦群像	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（2）赤眼の裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	840,000	
裸婦庭図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
裸婦座像（3）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
横臥図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
池畔図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
裸婦座像（4）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
立山遠望	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
二人裸婦	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
山間風景（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
立像裸婦達	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	1,260,000	
山間風景（2）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
桜樹	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
赤松	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
鯉魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
静物	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	367,500	
裸婦立像図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	2,625,000	
双鶏	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	2,000,000	

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
信州槍岳之図	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	315,000	
牡丹の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.8.10	1,000,000	
貝族の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.9.10	3,150,000	
合計	38					34,240,000	

「笥」 石崎 光瑤 作



(右隻).

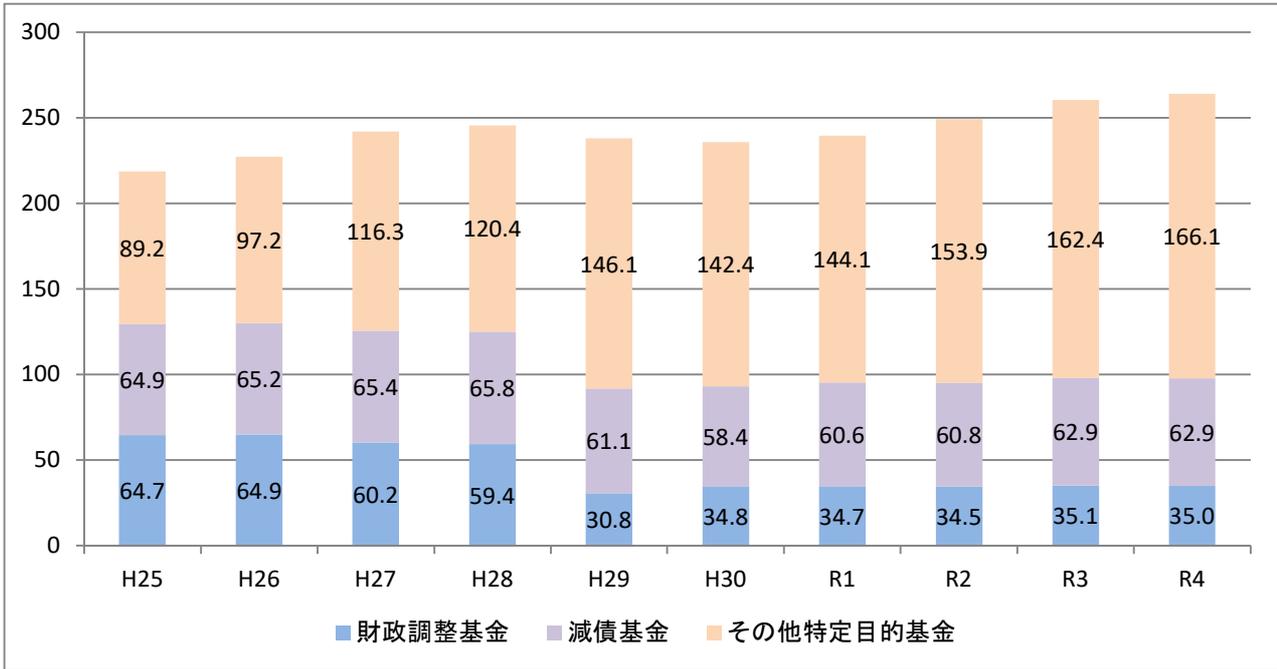


(左隻).

4. グラフで見る基金の推移（定額運用基金を除く）

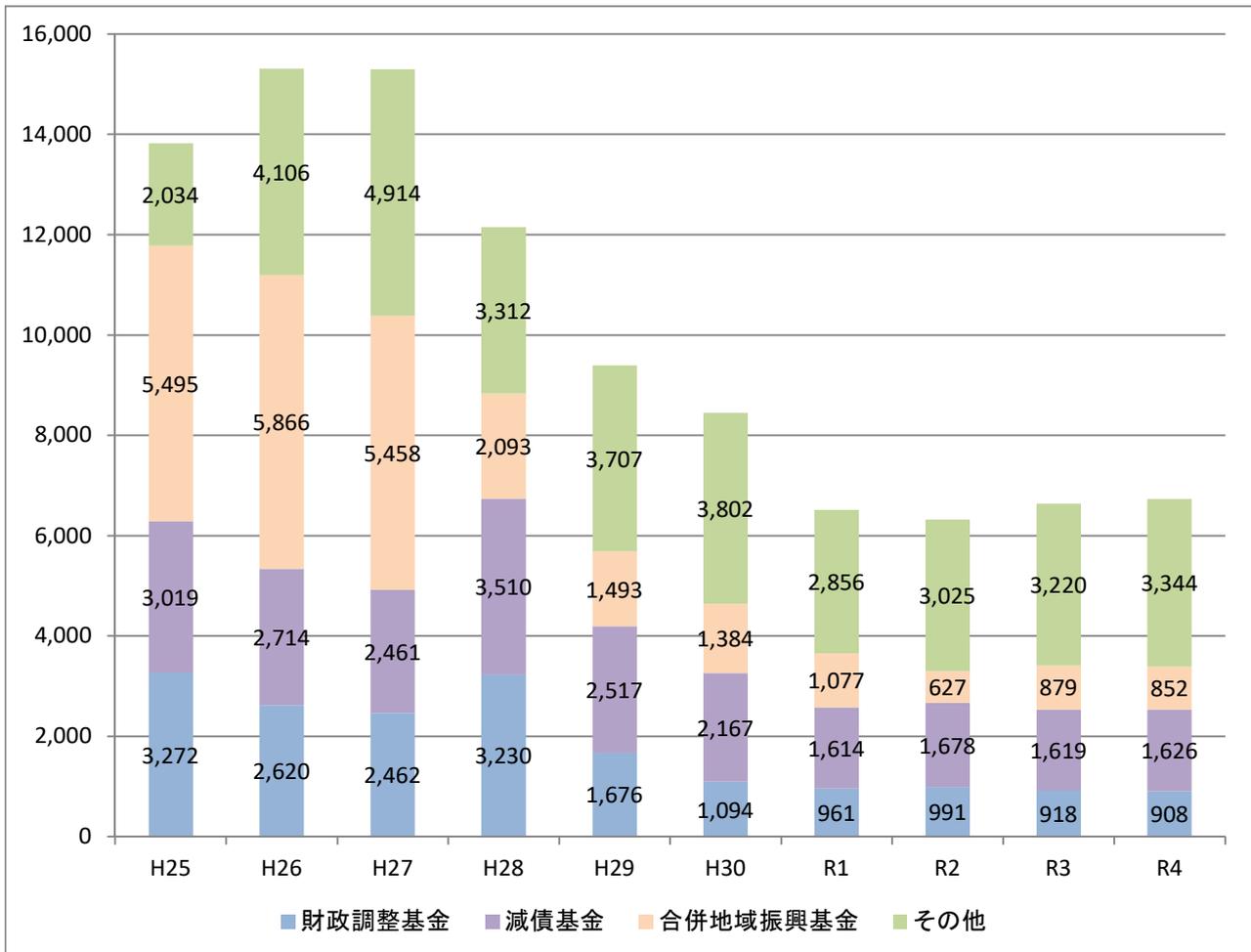
《年度末現在高》

（単位：億円）



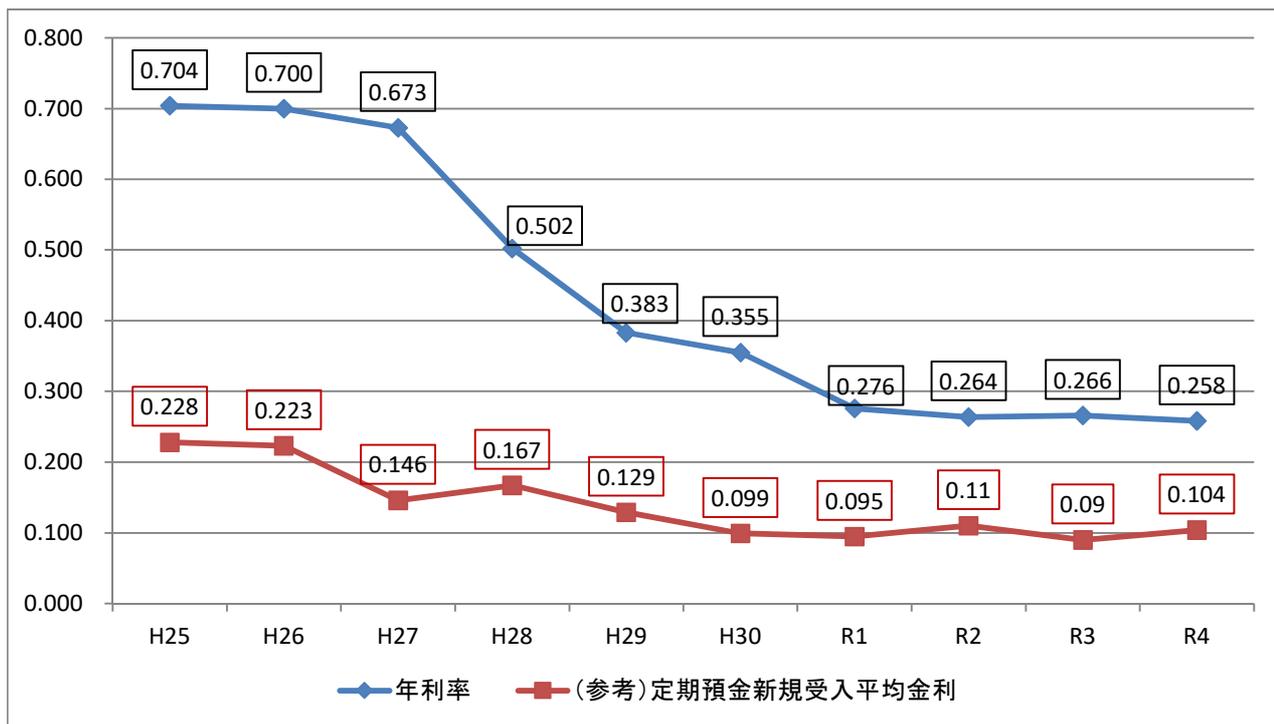
《運用益の状況》

（単位：万円）



《年利率》

(単位：%)



- ※1 年利率は、次の算式によって求めています。

$$\text{年利率} = \frac{n\text{年度運用益総額}}{(n-1)\text{年度末基金残高}} \times 100$$
- ※2 「(参考)定期預金新規受入平均金利」は、日本銀行が公表している毎年3月における「定期預金新規受入平均金利(預入金額1千万円以上、預入期間3カ月以上6カ月未満)」の値を参考としています。
- ※3 平成28年度からは、基金の一括運用を行っており、基金の運用によって生じた収益は、1月1日現在の基金現在高に応じて、按分する取扱いとしています。

《県内10市の普通会計基金現在高(令和4年度末)》

(単位：億円)



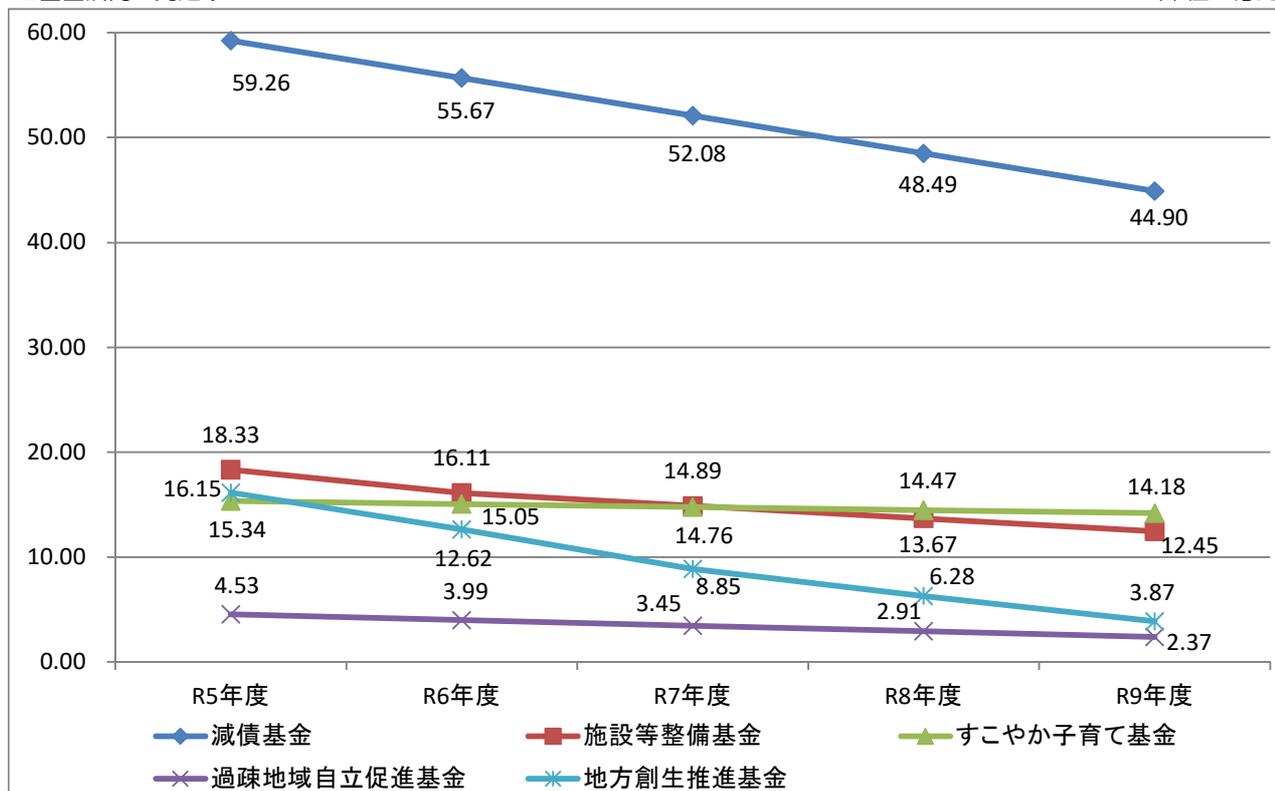
出典；令和4年度地方財政状況調査

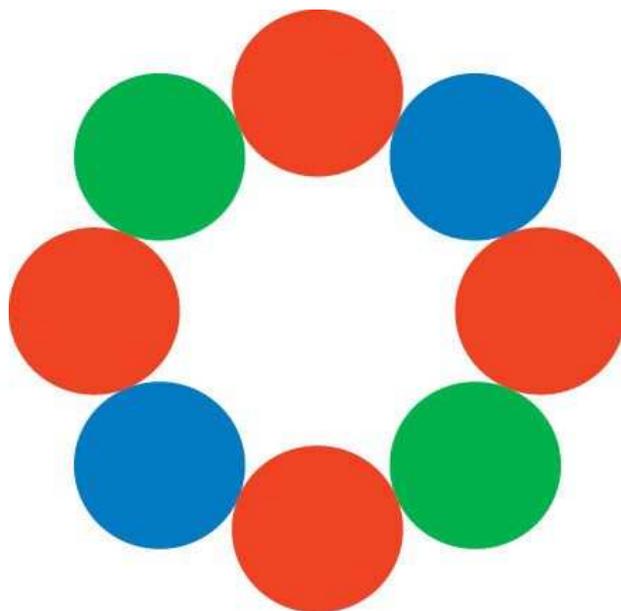
《今後の基金活用予定》

今後の財政見通しにおいては、歳入面においては人口減少に伴う個人住民税や普通交付税の減、歳出面においては扶助費及び公債費の増が見込まれ、これまで以上に厳しい財政状況となることが予見されます。そういった状況下においても、必要とされる行政サービスを継続的に提供するとともに、人口対策、地域経済の活性化対策といった重点施策を講じていくために、基金を計画的に活用していくこととしています。

■基金残高の見込み

(単位：億円)





NANTO

【問合せ】

〒939-1692 富山県南砺市荒木1550
南砺市役所 総務部 財政課

TEL 0763-23-2004
FAX 0763-52-6341